

仮
称

よ り そ う

個人ボランティア のみなさんで 正式名称を 決めて下さい。

『や、と見つけたんよ』

今日、大槌高校 [大槌町の避難所訪問活動のA組] の避難所へ行ってまいりました。「あは

まほすー。」とおそろおそろ入っていきまると、その声ど吹き飛ばすくらいの大きな声で高校生が「たんにちゅ」と。

年輩のオマも「今度は誰だ？」みたいに「どこから来たのか？」「何時までいるのか？」と問い掛けてくださいました。しばらく、たわいもないお話をさせて頂いていると、

被災されたお家まで出掛けられていた40歳前(?)位のお母さんが小さな柄のついたスポンジを持って帰ってこられました。

そして、みなさんがおられるなかで、なぜか私に「水見つけたんよ」「息子のもの、なにも出てなかったのに。」「やと、一見つけたんよ」って。

先にごはん粒のような白いものが一着いた小さなスポンジを大切に、私に見せてくださいました。「良かったよ」って、何度も何度も……。

私の顔をジッと見ながら、最後まで笑顔で「ほんとにやと見つけたんよあ」と。

県外から来た私に、なぜ、このお母さんは、笑顔でこの大切なスポンジを見せてくださったのでしょうか？

お母さんが伝えようとしてくださったこと、必ずや、郷里に持って帰りたいと思います。(あかり)

三好：陸前高田へ行く方は、この話をしつづ月毎に納めて行き、回収にのみカネ入れず丁寧な作業をしましょう。

厳しい状況です。 本日、陸前高田へ初めてこられた男性、「臭いは何とかしのげます。魚の状況が……」
「厳しいですね。早く回収したい……」

個人ボランティアは対等平等

東日本震災へのボランティアの皆さん、よく馬にやけて下さいました。みなさんの生活を支える世話役がおりませんが、あくまで横一線、対等平等です。多くの個人ボランティアのみなさんが元気に、気持ちよく体育館でくせせりよう努力している次第です。自主的にやられているもので、今後とも多く運営されることを期待しています。(縦型社会ではありません) 積極的に自らの力量を出し切ってください。

「手伝いをさせてもらっている」精神で。

とかく人間は善意でありながら「思いあがり」面が剥け。「復興を手伝いに来ている」という思いあがりも厳にツシみましょう。復興者と共に復興を手伝わせてもらっている謙虚な気持ちで活動に出かけていきましょう。

重機入る。 本日、魚を回収している陸前高田市上長部地区に重機2台入り。おれき撤去が始まりました。但し、市街地に近いのは自衛隊員による捜索がおいなわれています。

白熱お交流会(ミーティング)

早朝、遠野ボランティアセンターに到着した下さん(女性)が受付の後どこにならんでいいかわからずおた、とう：おたから、早朝到着はオの対談、新しい人の説明パンフレット

夜間トイレに行くとき 一番前(舞台側)の扉を一人通れる程開けておきます。中扉、後扉をみんなに開閉され、寝られないという声が世話役に届いておりました。

洗濯機の使用、

1はしばらくお符を

個人ボランティアのミーティングで出された3洗濯機が設置された。社会福祉協議会の設備備品ですので、使用法を7めするので、あそ一日のゆよも下さ。



糸倉 いははるか